

Vol.2  
No.2  
Jun. 2007

# 食育学研究

The Journal of Dietary Education

- |                                |          |                |
|--------------------------------|----------|----------------|
| 1. 巻頭言                         |          | 稲井 玲子          |
| 2. 日本食育学会 第2回大会スケジュール          |          |                |
| 3. プログラム                       |          |                |
| 4. 公開講演 「ひろげよう子ども支援」           |          |                |
| “子どもをとりまく危機的環境をどう考えるか”         |          | 本保 恭子          |
| 5. シンポジウムⅠ 「近年の子どもの抱える問題とその対策」 |          |                |
|                                | 記者の視点    | 堀田 浩之          |
|                                | 教育政策者の視点 | 野崎 明彦          |
|                                | 研究者の視点   | 前橋 明           |
| 6. シンポジウムⅡ 「今、求められる子ども支援とは」    |          |                |
|                                | 食から      | 名和田清子          |
|                                | 運動から     | 米谷 光弘          |
|                                | 生活から     | 尾木文治郎          |
|                                | 韓国の子ども支援 | 徐 相玉           |
| 7. 講演 「韓国の子どもの食と生活」            |          | 李 貞淑<br>徐 相玉   |
| 8. 実践・研究報告                     |          |                |
| (1) 午後あそびの充実                   |          | 佐野 裕子<br>江川真由美 |
| (2) 歯科保健—食事と歯の健康を考える—          |          | 有木 信子<br>佐野 祥平 |
| 9. 提言 「子どもの健康福祉実践 2007」        |          | 前橋 明<br>松尾 瑞穂  |
| 10. 一般研究発表抄録                   |          |                |
| 11. 食育関連トピックス                  |          |                |

 日本食育学会

The science conference of Japanese Dietary Educations

# 日本食育学術会議 第2回大会

## 講演要旨・研究発表抄録集

期 日：2007（平成19）年6月23日（土）10：00～17：30  
24日（日）9：30～17：00

会 場：名古屋経済大学

愛知県犬山市内久保61-1

TEL. 0568-67-0511(代)

# 巻 頭 言

日本食育学会議  
理事長 稲井 玲子

高齢社会を迎えた今日、人々の健康の維持・増進が重要課題となっております。その一環として、平成 17 年 7 月に「食育基本法」が施行されたことは、すでに先生方もご承知のことと思われれます。食育基本法では、その基本理念として「国民の心身の健康の増進と豊かな人間形成、食に関する感謝の念と理解、食育推進運動の展開、子どもの食育における保護者、教育関係者の役割、食に関する体験活動と食育推進活動の実践、伝統的な食文化などへの配慮と農山漁村の活性化と食糧自給率の向上への貢献、食品の安全性の確保などにおける食育の役割」をうたっています。そして、「食育」は、食品の生産・流通から消費・健康教育に至るまで幅ひろく食に関して育成していくためのものであり、また子どもたちに対することはもちろんのこと、高齢者まで対象も広いものです。

そこで、「食育」に関わる様々な専門の方々の情報交換の場になればと考え、「日本食育学会議」を昨年発足しましたが、今年度の 6 月には第 2 回大会を開催することができました。この第 2 回大会のテーマは、「ひろげよう子ども支援」であります。近年の日本社会の食生活は、飽食の世の中から崩食の世の中に変化したとも言われるほど、人々の食生活の乱れが懸念されるようになってきております。とくに子どもたちを取り巻く「食環境」の乱れは、まさしく「Shock（食）環境」となってきており、次代を担う子どもたちの健康だけでなく、様々な能力に関わる発達への悪影響が心配されます。

本学会議は、上述のようによく満 1 歳を迎え、まだまだ体制が整わないところもございますが、この度、「食育学研究」において、報文等を掲載していくようなシステムも構築されたことは、非常に喜ばしいことです。この「食育学研究」は、総説、論説、原著、報告、研究ノート、調査資料、講座、便り、東西南北など様々な食育に関する情報を提供していきたいと考えております。これを機会に、ぜひ皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

# 目 次

1.	巻頭言	i
2.	日本食育学会議 第2回大会スケジュール	ii
3.	プログラム	iv
4.	公開講演	1
	「ひろげよう子ども支援」 “子どもをとりまく危機的環境をどう考えるか” 本保 恭子（ノートルダム清心女子大学）	
5.	シンポジウムⅠ	5
	「近年の子どもの抱える問題とその対策」 シンポジスト 記者の視点 堀田 浩之（ひかりのくに） 教育政策者の視点 野崎 明彦（前高知県教育委員会事務局教育政策課） 研究者の視点 前橋 明（早稲田大学）	
6.	シンポジウムⅡ	15
	「今、求められる子ども支援とは」 シンポジスト 食から 名和田清子（島根県立大学短期大学部） 運動から 米谷 光弘（西南学院大学） 生活から 尾木文治郎（高知県の町立吾北中学校教頭 前高知県教育委員会指導主事） 韓国の子ども支援 徐 相玉（中央大学校）	
7.	講演	23
	「韓国の子どもの食と生活」 李 貞淑（韓国：明知大学校） 徐 相玉（韓国：中央大学校）	
8.	実践・研究報告	29
	(1) 午後あそびの充実 佐野 裕子（東京 YMCA 社会体育保育専門学校） 江川真由美（早稲田大学） (2) 歯科保健—食事と歯の健康を考える— 有木 信子（作陽保育園） 佐野 祥平（鈴峯女子短期大学）	
9.	提言	37
	「子どもの健康福祉実践 2007」 前橋 明（早稲田大学） 松尾 瑞穂（早稲田大学）	
10.	一般研究発表抄録	43
11.	食育関連トピックス	85
	「子どもへの食事バランスガイドの活用」 山城ミヤ子（鈴峯女子短期大学） 「子どもの心と食を育む—子どもの Shock 環境—」 山内 有信（鈴峯女子短期大学）	

## 日本食育学術会議 第2回大会 スケジュール

6月23日(土)

時 分	9					10					11					12				
	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50
6 月 23 日 (土)						理事会										受付				

時 分	13					14					15					16					17					18				
	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50
6 月 23 日 (土)	開 会 式	公開講演						シンポジウム I						一般研究発表 I (A, B)						懇親会										

6月24日(日)

時 分	9					10					11					12						
	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50		
6 月 24 日 (日)						一般研究発表 II (C)							シンポジウム II									

時 分	13					14					15					16					17					18				
	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50	10	20	30	40	50
6 月 24 日 (日)	総 会	講 演						一般研究発表 III (D)						提 言	閉 会 式															

# プログラム

## 第1日目 6月23日(土)

10:00-11:30

理 事 会

12:00~

受 付 開 始

13:00-13:10

開 会 式

13:10-14:30

公 開 講 演

### 「ひろげよう子ども支援」

“子どもをとりまく危機的環境をどう考えるか”

講 師 本保 恭子 (ノートルダム清心女子大学)  
座 長 石井 浩子 (京都ノートルダム女子大学)

(14:30~14:45 休憩)

14:45-16:35

シンポジウム I

### 「近年の子どもの抱える問題とその対策」

シンポジスト

記者の視点 堀田 浩之 (ひかりのくに)  
教育政策者の視点 野崎 明彦 (前高知県教育委員会事務局教育政策課)  
研究者の視点 前橋 明 (早稲田大学)  
座 長 廣本美知子 (鈴峯女子短期大学)  
コーディネーター 伊藤 健次 (名古屋経済大学)

(16:35~16:50 休憩)

### 一般研究発表 I

16:50-18:10 座 長 川原 晶美 (永見ひかり第一保育園)

A-1 保育園における食育II

—給食指導による朝食摂取状況の変化— 内山 瑞枝 (作陽保育園)

A-2 沖縄県における離島幼児の健康福祉に関する研究(II)

—夕食時刻を早める知恵集め調査(その1)— 松尾 瑞穂 (早稲田大学)

A-3 地域での自主的な男性料理教室の紹介

～お父さん達が料理を作る影響～ 大野 美穂 (仁寿会加藤病院)

A-4 高校生の健康に関する研究V

三宅 朋子 (岡山県立玉島高等学校)

座 長 野田 哲由 (吉備国際大学)

B-1 7~8歳は10時間、9~12歳は9時間の睡眠が

朝食摂取率を向上させる 小澤 秀子 (名古屋経済大学)

B-2 保育園5歳児の生活実態に関する調査

泉 秀生 (早稲田大学)

B-3 石川県における幼児の生活課題に関する研究

牧野 千絵 (早稲田大学)

B-4 食事の開始時刻が幼児の生活に及ぼす影響

國峯 拓巳 (早稲田大学)

## 第2日目 6月24日(日)

### 一般研究発表Ⅱ

- 9:30-10:30 座 長 東元 稔 (名古屋経済大学)  
有木 信子 (作陽保育園)
- C-1 0歳児の睡眠リズムと食事 端 明美 (永見ひかり第一保育園)
- C-2 大学生が保有する疲労感に与える朝食摂取の影響 長谷川 大 (早稲田大学)
- C-3 女子サッカー選手の食事について  
～「エクセル栄養君」を用いて～ 野田 哲由 (吉備国際大学)
- C-4 食事(栄養素)摂取タイミングは肥満発症に関係あるのか? 松尾 達博 (香川大学)
- C-5 女子短期大学生の食生活状況  
－食物栄養学科学生における調査－ 廣本美知子 (鈴峯女子短期大学)
- C-6 幼児の朝食摂取と排便との関連 浅川 和美 (茨城県立医療大学)

(10:30～10:40 休憩)

10:40-12:40

シンポジウムⅡ

### 「今、求められる子ども支援とは」

シンポジスト

- 食 か ら 名和田清子 (島根県立大学短期大学部)  
運 動 か ら 米谷 光弘 (西南学院大学)  
生 活 か ら 尾木文治郎 (高知県の町立吾北中学校教員 前高知県教育委員会指導主事)  
韓国の子ども支援 徐 相玉 (中央大学校)  
座 長 山城ミヤ子 (鈴峯女子短期大学)  
コーディネーター 若林 和夫 (名古屋経済大学)

(12:40～13:15 昼休憩)

13:15-13:30

総 会

(13:30～13:40 休憩)

13:40-14:40

講 演

### 「韓国の子どもの食と生活」

- 李 貞淑 (韓国：明知大学校)  
徐 相玉 (韓国：中央大学校)

13:40-14:40 (都合により紙面発表)

実践・研究報告

#### (1) 午後あそびの充実

- 佐野 裕子 (東京 YMCA 社会体育保育専門学校)  
江川真由美 (早稲田大学)

#### (2) 歯科保健－食事と歯の健康を考える－

- 有木 信子 (作陽保育園)  
佐野 祥平 (鈴峯女子短期大学)

(14:40～15:00 休憩)

一般研究発表Ⅲ

15:00～16:00 座 長 松尾 達博 (香川大学)

- |     |  |                      |
|-----|--|----------------------|
| D-1 | 朝食摂取の重要性<br>ー朝食摂取状況と体格・体力および計算能力ー                      | 浅田 祐一 (名古屋経済大学)      |
| D-2 | 幼児の食行動に関する母親の認知  | 奥富 庸一 (早稲田大学)        |
| D-3 | 幼児の給食摂取状況と口臭濃度との関連                                     | 佐野 祥平 (鈴峯女子短期大学)     |
| D-4 | 保育所における保育士の食育活動の現状と課題<br>第一報ー保育士が実施している食育活動            | 星 永 (埼玉県立大学)         |
| D-5 | 保育所における保育士の食育活動の現状と課題<br>第二報ー保育士が困難と考える子どもの食の問題と対応策の検討 | 坂本めぐみ (埼玉県立大学)       |
| D-6 | 保育園児より家庭への食育発信   | 鶴飼真理子 (京都ノートルダム女子大学) |

(16:00～16:20 休憩)

16:20～16:50

提 言

「子どもの健康福祉実践 2007」

- |     |                  |
|-----|------------------|
| 講 師 | 前橋 明 (早稲田大学)     |
|     | 松尾 瑞穂 (早稲田大学)    |
| 司 会 | 伊丹 純子 (龍ヶ崎済生会病院) |

16:50～17:00

閉 会 式